

（ホシヤクのたのしみ）

長谷川四郎

ん1

うまいホシヤクというものは、なまじっか
 原語を知っている、そして近視眼流の人から
 みておとぎとき、これは誤訳ではあるまいか
 うと思わゆることがあるようだ。むかし東京
 帝国大学の仏文科の学生に一人の男がいて、
 彼は堀口大学を堀口幼稚園と呼び、アポリネ
 ルの動物詩集だ、たと思いが、この訳は誤
 訳だと言ったので、つい私も大学とは
 と、いきました。たが、よくよ幼稚園のくせに
 してみると、じつは巧みにと訳されてい
 ることがわかった。私は大学はやっぱり大学
 だ、^{ゆい}感心した。たが、その男は天下の帝国大学の
 学生だった。た^から、たろう、ついに堀口
 を撤回しようとしなかった。
 フランス人は好きな女のことを、あやはお
 れのジャンルだ、という。さうだが、ホシヤク
 者にも自分のジャンルがあるだろう。出版者
 からお座敷がかかること、なんでござれ、すぐ
 とりかかる記者は、ミステン、記者にちがいな
 い。うまくいくこともあるが、たいていはサ